

ジックは、産業用に幅広いセンサ装置を提供できる、世界でも有数のメーカーです。

SICK ジック株式会社
Sensor Intelligence.

本社: 東京都中野区本町1-32-2 八ヶ岳ビル13F TEL:03-5309-2115
URL: http://www.sick.jp e-mail: support@sick.jp

チームクロスFA

DXシヨールーム開設 次世代生産ライン備える

製造業のデジタルトランスフォーメーション(DX)とスマートファクトリー構築の支援を行うロボットシステムインテグレーターや設備メーカー等の連合体のチームクロスFAは9月10日、製造業のDXから生産ロボットシステムをリアルタイムで体感できるシヨールーム「スマラボ東京」を、東京都千代田区に開設した。

同所は官公庁に近しい、内幸町のNTT比谷ビルB1階にオープン。製造業のDXの必要性が叫ばれるなか、単純機能の自動化工程を

IT・IoT、実際の生産ラインを融合した次世代の生産方式のコンセプトライン「DX型ロボットシヨールーム」になっている。目玉は、ITとOT、搬送の追い越しや混流生産、シヨールームの構成変更などで変化への対応に優れている。

バーチャルでも、CADを使って行われる製品設計から工程やレイアウト設計といったエンジニアリングシステム、生産管理システム、製造や物流、品質、保全の作業

並べ、その間の搬送をAGV・AMRのロボットが担う。加工の順番や異種流し、生産変更に対応する工程変更は柔軟に対応できないコペアライン生産に対し、DX型ロボットシヨールームでは

デジタル化に必要なデジタル技術とデータ活用、さらにそれをリアルタイムで実現するロボットや生産設備を備えたシヨールームになっている。

デジタル技術とデータ活用、さらにそれをリアルタイムで実現するロボットや生産設備を備えたシヨールームになっている。

実行を指す統合MES、動作シミュレーションと生産シミュレーションの2つのシミュレーション技術を使ってリアルな生産ラインを再現した

デジタルライン、さらにはリアルな生産ラインとそこから上がってくる稼働データや電力データを蓄積・分析するIoTプラットフォーム「オムニ」まで、すべてが連携している。生産シミュレーションとAIが生産計画や設備情報と設備から上がってくるデータを学習・比較して最適な生産を導き出し、工場を稼働させるには、どの企業の強みが発揮されるか、進化していくものとなっている。

プロジェクト統括の天野眞也氏は「手不足やリードタイム短縮といった課題を解決するには、イノベーションが不可欠

「DXの実現は、DXの生み出すストーリーにリアルな設備が追従して動くことが重要になる。システムインテグレーターならではの、最高の技術をコネクした展示ソリューションになっている」と話した。技術統括の飯野英城氏は「DXでいかに良い方を考えても、まっすぐに流れるコペアラインでは何もうできない。DX型ロボットシヨールームでは、DXが考えた最適な生産を実現できる」としている。



左から高田氏、天野氏、飯野氏

イとデジタルトランスフォーメーションの実現が

大事だ。上位のデジタルとリアルな設備を連携し、経営指標とを結びつけることができる唯一の場所」とし、ビジネス統括の貴田義和氏も

【お知らせ】
本紙9月23日付は休刊、次号は9月30日付で発行いたします。
オートメーション新聞